

# ホワイトニングを併用し、 歯周治療を行った一症例

(医)ティースプランニング 赤坂デンタルオフィス

歯科衛生士 竹永 薫

# 患者紹介

- 初診年月日 2011年7月23日
- 患者氏名 S. K.
- 生年月日 1980年4月16日 32歳
- 性別 女性
- 主訴 ホワイトニングをしてみたい
- 現病歴、既往歴 特記事項なし

## 現症

### 1) 口腔内所見

カリエス、不良補綴物、プラーク、食渣、歯肉発赤

### 2) レントゲン所見

歯槽硬線の消失、水平的骨吸収(軽度)、根尖性歯周炎

### 3) 歯周組織検査

4mm以上のポケット39.3%、BOP47.3%

# 初診時





	4 4 4 4	4 4 4 3	4 5 4 3	3 4 4 4	2 3 4 4	2 7 6 2	5 6 5 2	5 5 5 3	3 5 6 3	3 6 5 3	3 5 3 2	3 5 5 3	3 5 5 3	3 3 3 3			×
<b>8</b>	<b>7</b>	<b>6</b>	<b>5</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>	<b>8</b>		
半	4 9 3 2	4 3 3 2	3 4 3 2	4 3 3 2	2 4 5 2	2 6 3 2	3 3 3 2	2 3 3 2	2 3 7 2	3 4 3 2	3 3 3 2	3 2 3 2	3 3 4 2	3 3 5 3			×

4mm以上のポケット39.3%、BOP47.3%

## ▪ 治療計画

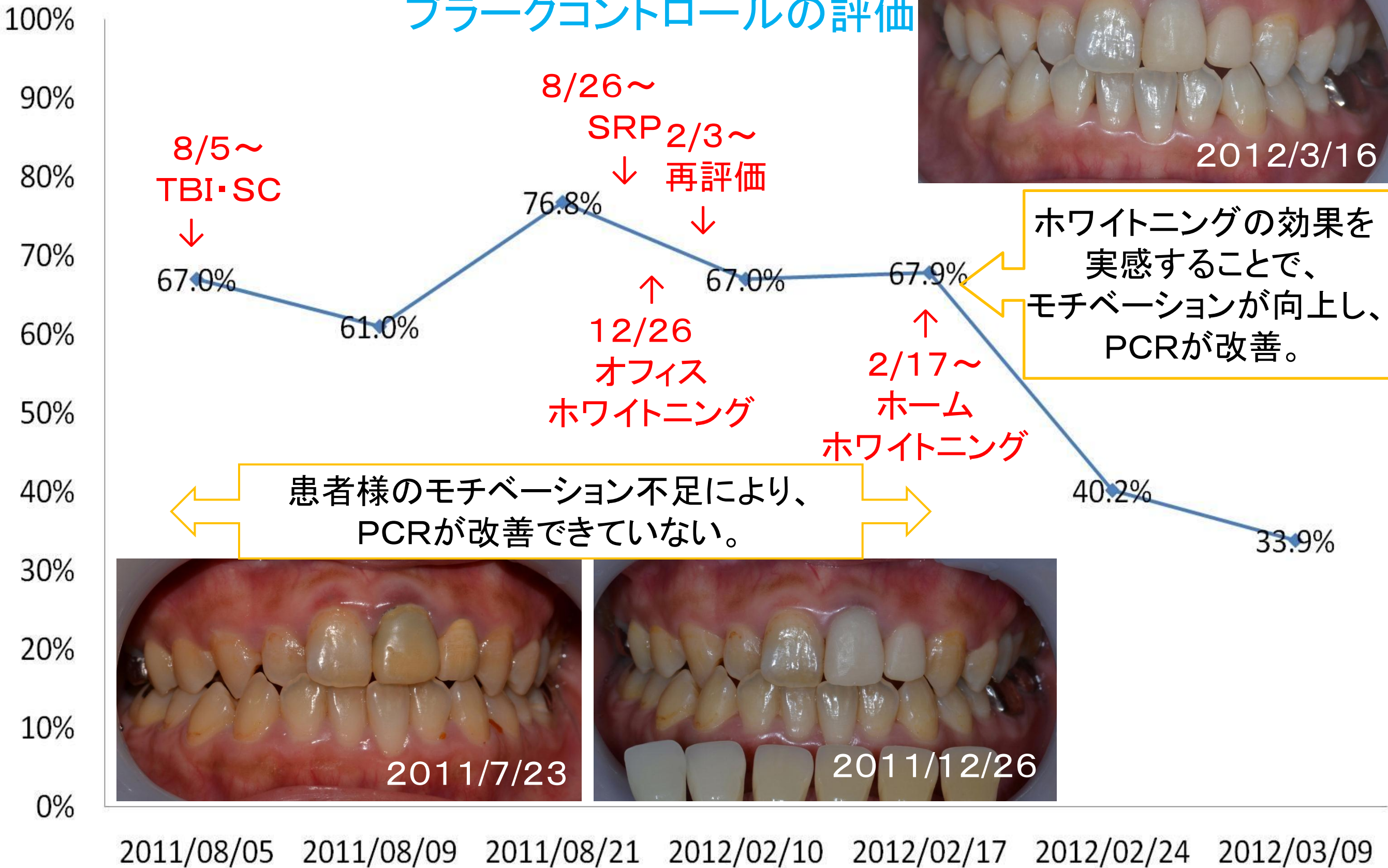
- 1) PCRの改善
- 2) カリエス処置、感染根管治療
- 3) 不良補綴物の除去
- 4) スケーリング、ルートプレーニング
- 5) ホワイトニング
- 6) 補綴処置

## ▪ 治療経緯

- 1) 2011年8月5日～口腔内清掃指導、スケーリング
- 2) 2011年8月26日～ルートプレーニング
- 3) 2011年12月26日～オフィスホワイトニング
- 4) 2012年2月3日～再評価
- 5) 2012年2月17日～ホームホワイトニング
- 6) 2012年3月23日～左上1・2歯間乳頭再生、補綴

# PCRの推移

## ブラッシングによる プラークコントロールの評価



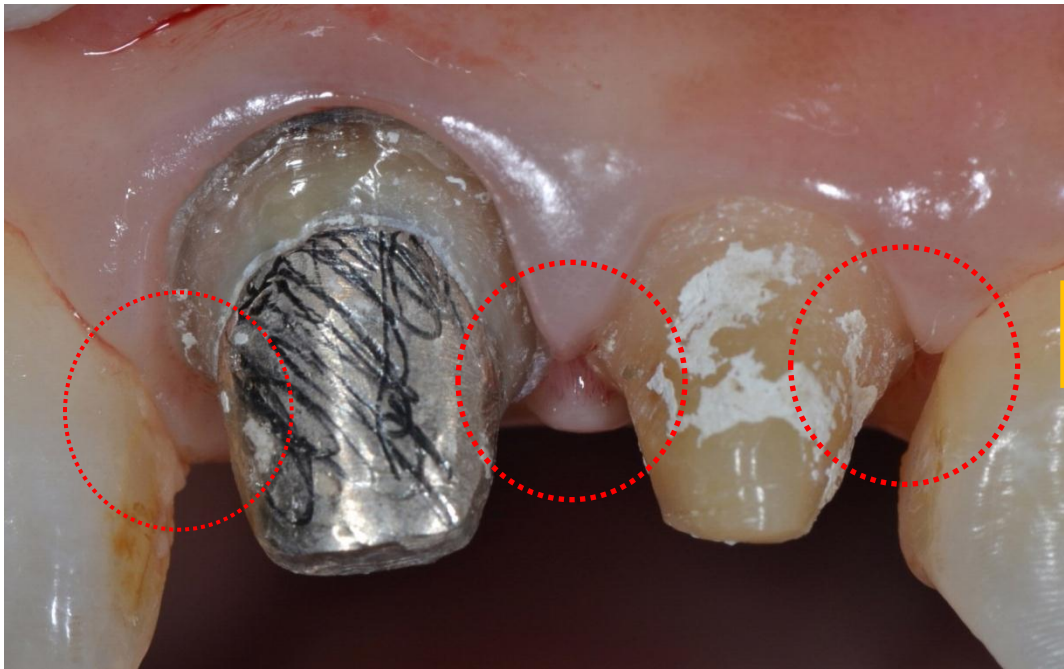
# 再評価 24/3/16

	3 4 4 3	3 4 4 3	2 3 3 2	2 2 2 2	2 2 3 2	2 2 3 2	2 3 3 3	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 3 2	2 3 3 2	2 3 3 2	3 3 3 3	3 3 4 3	×
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	
半	3 8 4 3	2 2 3 3	2 2 3 2	2 3 3 2	2 2 3 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 3 2	2 2 2 2	3 3 3 2	3 3 3 2	3 3 4 2	2 3 5 2	×	

4mm以上のポケット7.1%、BOP15.2%



# 左上1・2 オドントプラスチック



術後46日

歯間乳頭部の腫脹を改善する為に、  
歯根間距離が2mmになるように  
歯の形態を修正。



仮歯のコンタクトポイントが、骨頂から約3mmの位置になるように調整。



# 左上1・2 最終補綴



# 比較



# まとめ

本症例で、歯周治療において患者様のモチベーション向上の難しさと重要性を再認識しました。

ホワイトニング処置を行ったことで、患者様ご自身がその効果を実感することができ、モチベーション向上に繋がり、治療への理解と参加を促すことができました。

それにより、ラポールが確立し、最大の治療効果を獲得することが可能であることがわかりました。

患者様のモチベーションを向上させるためには、視野を広げていろいろな角度から、様々な方法を検討する必要があることを感じました。

また、私自身のモチベーションも向上し、よりよい治療結果を出せるように努めることもできたと思います。

今後も、患者様のモチベーションを高く維持し、長期的に良好な状態を維持管理できるように、努めていきたいと思っております。